

信濃美術館及び城山公園噴水広場の整備にかかる 「第3回県民フォーラム」概要

県民文化部文化政策課
信濃美術館整備室

日時：平成30年2月18（日曜日）午後1時30分から3時05分

場所：塩尻総合文化センター 大会議室

参加者：32名

概要

主な意見等

美術館関係

- 屋上広場の車イスの方用の駐車場からエレベーターまでの距離が20m位あるのが気になる。
 - 当然、バリアフリーを前提に考えているが、全体のバランスを見ながら設計したい。
- 屋上広場の仕上げはどのように考えているのか。
 - 一番悩んでいるところ。耐候性がある材料にしたいが、基本的にはナチュラルなものでありたい。木質系のものにしたい。できれば本物を使いたい。
- 屋上広場の緑化はどのような仕上げを考えているのか。
 - メンテナンスが楽なものを考えたい。地面に生えている草のようなものがよい。
- 絵の搬入搬出する場所はどこなのか。
 - 2階に県民ギャラリー専用の搬入用エレベーターを設置し、地下の県民ギャラリーに作品を運べるようにする。搬入用車両は3台程度入れる想定である。
- 駐車場が東山魁夷館の北側にあるが、この場所に車を停めて本館まではどのような動線になるのか。
 - 基本的には地上から入っていただくことを考えている。正面から東山魁夷館に入るのが本来の動線。雨の場合は近くの入口から入ることも考えられる。駐車場から全て屋根を付けることは難しい。
- 駐車場が現在よりも少なくなるが、どのように対応するのか。高齢者のことを考えると車を降りてからの動線を考える必要がある。
 - 公園管理者である長野市は、非公式ながら旧NHK跡地を駐車場にすることを考えているようである。駐車場の問題は難しい問題だと考えている。

- 例えば、「長野県展」をやる場合の案内は具体的にどこで行うのか。
 - 具体的な場所はこれからの検討である。どこでどのような情報を出すのかが重要である。待合プラザでは情報を出したい。それ以外にも情報計画を検討していきたい。
- 県民ギャラリーを借りる場合、美術館との打合せや主催者控室はあるのか。
 - 美術館との打合せは美術館の事務スペースの会議室を使うことになると思う。主催者控室は県民ギャラリーに隣接した場所に設置する予定である。

公園関係

- 現在の噴水は時代遅れ。常時水たまりで終わることがないようにしてほしい。
 - 水を溜めるときもあるし、水が抜けて広場の一部になるときもある。今後、長野市と調整し、噴水のあり方やデザインを考えていきたい。
- 今後、若者が美術館を利用する場合、噴水広場がイベントなどに使いやすいようにする考えはないか。彫刻などの立体が公園にあり、公園を展示に使いやすい雰囲気になるとよい。
 - イベントスペースと名前を付けるのは悪くはないが、建築家が場所を決めるのではなく、イベントや芸術家が場所を探し出してくれるような公園にしたい。予定調和的な広場名などはなるべく付けたくない。彫刻などは信濃美術館、長野市、芸術家とコミュニケーションを取りながら配置できるとよい。

(以上)